

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2017年8月24日～2017年8月30日)

平成 29 年(2017 年)9 月 1 日

H	E	A	D	L	I	N	E	S
<p>政治</p> <p>欧州委員会による年金受給開始年齢の男女差に関するEU法違法手続きへの反応 難民再移転に関するEU合意の義務不履行 在英ポーランド人数統計 マチェレヴィチ国防大臣のウクライナ訪問 ストルテンベルグ・NATO事務総長のポーランド訪問 マクロン仏大統領のポーランドに関する発言に対する反応 マチェレヴィチ国防大臣, ラドムの国際航空展示会に参加 法の支配問題に関する欧州委員会への回答 北朝鮮のミサイル発射に対する声明 法の支配問題に関するメルケル独首相の発言に対する反応 ロシア機, ポーランド上空を観測飛行 シャトコフスキ国防次官, 米上院議員と会合</p>								<p>【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！ 問合せ先大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書, 在外投票, 旅券, 戸籍, 国籍関係の届出についてもどうぞ。</p>
<p>治安等</p> <p>ストルテンベルグ・NATO事務総長の車列が交通事故 ウクライナ人に対する襲撃・暴行事案の急増 マゾヴィエツキ工場でスピード違反取締強化キャンペーン 国境警備隊, ベトナム人密入国者を拘束 ポーランド北部で発生した列車衝突事故で28人が負傷 ポーランドの道路の安全性評価</p>								
<p>経済</p> <p>2018年予算案 6割がポーランド経済はよい方向にあるとの調査結果 7月の失業率 平均賃金上昇率 シドゥウオ首相, 石炭はエネルギー需給見通しにおいて重要な役割を維持すると発言 PGNiG, LNG 基地の利用に関し契約改定 ガスパイプラインの新設</p>								
<p>大使館からのお知らせ</p> <p>長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意 旅券(パスポート)の管理及び携行義務に関する注意喚起 欧州でのテロ等に対する注意喚起 「たびレジ」への登録のお願い パスポートダウンロード申請書の御案内 大使館広報文化センター開館時間 文化行事・大使館関連行事</p>								
<p>ポーランド日本国大使館 ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000 http://www.pl.emb-japan.go.jp</p>								

政 治

外交・安全保障

欧州委員会による年金受給開始年齢の男女差に関するEU法違反手続きへの反応【23日】

欧州委員会は、10月1日付で発効する法律において、ポーランドにおける年金受給開始年齢は、女性60歳、男性65歳となり、前政権の改革の前の状況に戻ることに、男女差別としてみており、本法律が発効した際にEU法違反手続きを開始する予定を発表している。それに対し、23日、ラファルスカ家族・労働・社会政策大臣は、EUの法律では加盟国が男女の年金受給開始年齢を平等にすることが義務づけられていないことを指摘しながら、同法律は男女差別ではなく、欧州委員会に対して期限以内に政府としての回答する旨述べた。

難民再移転に関するEU合意の義務不履行【23日】

23日、外務省は、2015年9月に決定された難民の再移転に関するポーランド政府の義務不履行に関する7月26日付の欧州委の意見書に対し、同委が実施している違法手続きを中止するように要請し、同手続きが継続する際は、ポーランド政府は、欧州司法裁判所において自身を弁護する用意がある旨述べた。

在英ポーランド人数統計【24日】

24日、英国の国家統計局(ONS)が2016年度の統計データを発表し、英国滞在中のポーランド人の人口が102万人に及び、前年に比べて8.6万人上昇している。ポーランド人は英国に滞在する国籍の中で最多で、次にインド人(36.2万人)、アイルランド人(33.5万人)及びルーマニア人(32.8万人)となっている。EU加盟した2004年前の統計では、在英ポーランド人の人口は6.9万人であった。

マチェレヴィチ国防大臣のウクライナ訪問【24日】

24日、マチェレヴィチ国防大臣は、独立記念日パレードの開催されたウクライナを訪問し、ポロシェンコ大統領及びポルトラック国防大臣と会談を行い、委員会の結成を含む防衛産業協力、EU戦闘群の訓練へのウクライナ軍の参加合意について協議した。

ストルテンベルグ・NATO事務総長のポーランド訪問【24～25日】

24～25日、ストルテンベルグ・NATO事務総長は、ポーランドを訪問し、ドゥダ大統領、シドゥウオ首相、ヴァシチコフスキ外相等と会談するとともに、オジェシュ演習場を訪問した。

ドゥダ大統領は、同事務総長と、NATO大隊の展開への謝意、米軍のプレゼンス等について協議し、ヴァシチコフスキ外相は、チャヴシュオール・トルコ外

相、メレシュカーヌ・ルーマニア外相とともに、同事務総長と、NATO東方・南方の安全保障情勢、露・ザパド演習について協議した。シドゥウオ首相は、同事務総長との会談後の記者会見において、GDP比2%以上の国防費の支出、部隊派遣等ポーランドのNATOへの貢献について言及した。

同事務総長は、マチェレヴィチ国防大臣とともに、ポーランド北東部のオジェシュ演習場を訪問し、同地に展開するNATO大隊により、NATO同盟の連帯を示し、抑止として機能していると述べるとともに、NATOは、ロシアの脅威に備え、NATOの集団防衛を強化しているが、ロシアとの対立は望んでおらず、政治対話等の建設的な関係の構築を望んでいる旨言及した。

マクロン仏大統領のポーランドに関する発言に対する反応【25日】

25日、ブルガリア訪問中のマクロン仏大統領は、EUの国外労働者派遣指令の改革に関連して、ポーランド国民はより良い決断を享受する権利があるし、シドゥウオ首相が、ポーランド国民に対して、低賃金に甘んじることは良いことであると説明するには困難を伴うだろうと述べ、また同大統領は、ポーランド政府による司法制度改革について言及しつつ、欧州は、ポーランドがブレーキをかけている政治的自由に基づいて建設されている、ポーランドは孤立を選択したと述べた。それに対し、シドゥウオ首相は、ポーランドはEUやEUの加盟国と対立しているわけではなく、フランスと同様にEUの加盟国であり、加盟国としての権限をポーランドの国民のために活用する、欧州の将来は、仏の大統領を含めた一加盟国の指導者ではなく、全加盟国共同で決定するものである旨述べると共に、ポーランドを批判するより、マクロン大統領が自国の経済や安全状況の改善に取り組むべきと指摘した。

マチェレヴィチ国防大臣、ラドムの国際航空展示会に参加【26日】

26日、マチェレヴィチ国防大臣は、ポーランド中部のラドムで開催された国際航空展示会に参加した。同展示会は、11か国から米軍のB1、B52を含む航空機177機が参加するとともに、ポーランド北東部のオジェシュに展開する大隊の装備品等の陸軍装備品の展示も行われた。

法の支配問題に関する欧州委員会への回答【28日】

28日、外務省は、7月26日付の欧州委員会のポーランドにおける法の支配に関するポーランド政府

宛意見書に対し、司法制度の改革を主要な目的とする現在進行中の法的措置は欧州の基準に合致しており、これは長年に亘る社会的期待に応えるものであり、欧州委員会の疑問には正当な理由はない旨回答した。それに対し、29日、欧州委員会報道官は、法の支配の枠組みは、EU加盟国において法の支配への脅威の明確な兆候が発生した場合に関与しなければならないと明示している、同委員会は、ポーランドにおいてその脅威が存在すると確信しており、同委員会はポーランド政府の上記主張を断固拒否する旨述べた。

北朝鮮のミサイル発射に対する声明【29日】

29日、外務省は、同日に北朝鮮が弾道ミサイルを発射したことに対し、本ミサイル発射実験は、既存の国際義務に違反し、地域の安全保障と平和、国際的な武器不拡散の脅威となっている。ポーランド政府は、北朝鮮当局に対し、挑発的な弾道ミサイル発射実験を直ちに中止し、ミサイル計画を完全、検証可能且つ不可逆な方法で放棄するように求める旨の声明を発表した。

法の支配問題に関するメルケル独首相の発言に対する反応【29日】

29日、メルケル首相は、ベルリンでの記者会見において、ポーランドの状況について質問を受け、法の支配はEU協力における基本原則であり、ポーランドとの良好な関係を望んでいるが、欧州委員会の

意見を真剣に受け止めている、平穩を保つために一切発言をしないと断言するわけにはいかないと述べた。それに対し、29日、シドゥウォ首相は、ポーランドは法律を遵守し、民主的で、連帯的且つ欧州統合を支持する国であり、EUの基本となる価値はポーランドにとっても重要であると強調したいと述べた。また、同日、ジョブロ法務大臣は、ドイツにおいても民主主義・言論の自由等に関わる問題を抱えているものの、本問題は主権国家の中で解決すべきであり、ポーランドは国際場裏で議論するつもりはないと指摘すると共に、ポーランドを批判するメルケル首相の発言には政治的な意図があるが、ポーランド政府は目標に向けて取り組んでいく旨述べた。

ロシア機、ポーランド上空を観測飛行【29日】

29日、ロシア空軍An-30は、オープンスカイ条約に基づき、ポーランド上空を1400kmにわたり観測機材を使用し飛行した。同機には、ロシア軍人とともに、ポーランド軍の検査官も同乗した。別の時期に、ポーランド軍も、ロシア・ベラルーシ上空で同様の観測飛行を行っている。

シヤトコフスキ国防次官、米上院議員と会合【29日】

29日、シヤトコフスキ国防次官は、ジョンソン米上院議員と会合を行い、PAC-3の調達を含む二国間防衛協力、ロシア・ザパド演習等の欧州情勢について意見交換を行った。

治 安 等

ストルテンベルグ・NATO事務総長の車列が交通事故【24日】

24日夜、ワルシャワ市内でストルテンベルグ・NATO事務総長の車列を警護していた警察車両が一般車と衝突し、衝突に巻き込まれた歩行者を含む4人が負傷した。警察当局は事故の過失に関してコメントを拒否している。事務総長搭乗車に被害はなく、車列の警護は代替車両が引き継いだ。

ウクライナ人に対する襲撃・暴行事案の急増【26日】

26日深夜、ルブリン市内のコンビニエンスストアでウクライナ人学生が4人のポーランド人に集団暴行される事案が発生した。容疑者グループは同日中に警察に拘束された。ルブリンではウクライナ人に対する襲撃・暴行事件が急増しており、ルブリン警察によれば、今年に入ってから前年比2倍の28件が確認されている。ポーランド人によるウクライナ人暴行事案はポーランド全土で増加傾向にあり、第二次世界大戦中にウクライナ人による民族浄化を経験したポーランド東部は特に反ウクライナ感情が根強いこ

とで知られる。

マゾヴィエツキエ県でスピード違反取締強化キャンペーン【28日】

26日及び27日、マゾヴィエツキエ県交通警察は、スピード違反取締強化キャンペーンを実施した。同キャンペーンは、欧州交通警察ネットワーク(TISPOL)に加盟する20か国が共同で実施したもので、マゾヴィエツキエ県内では806台の車両がスピード違反で摘発されたほか、警察の停止命令を無視して逃走したポーランド人運転手1人が逮捕され、罰金500ズロチ及び免許取消の処分を受けた。同人は5年以下の刑を求刑される見込みである。

国境警備隊、ベトナム人密入国者を拘束【29日】

29日、ポドラスキエ県国境警備隊支部は、ラトビアからポーランドに薪を輸送するトラックに潜伏し密入国を企てたベトナム人9人を拘束した。同ベトナム人の身柄はラトビア側に引き渡される予定で、国境警備隊は密入国ほう助の疑いで薪トラック運転手を拘束した。

ポーランド北部で発生した列車衝突事故で28人が負傷【30日】

30日、グダンスクの南方80キロメートルに位置するスメントヴォ・グラニチュナ村の鉄道駅で旅客列車と貨物列車の衝突事故が発生し、28人が負傷した。負傷者は全員軽傷で、同事故に巻き込まれた外国人はいなかった。ポーランド国鉄(PKP)が事故原因の調査を進めている。

ポーランドの道路の安全性評価【30日】

30日、政府は、ポーランドの道路の安全性に関する調査結果を発表し、ポーランドの道路の安全性がEUワースト3位であること、高速道路や自動車専用道が特に危険で1,000キロメートル毎に一般道の約5倍の交通事故が発生していること、を指摘した。

経 済**経済政策****2018年予算案【24日】**

24日、政府は2018年予算概算案を採択した。同案は、児童手当に約250億ズロチ、年金に追加で190億ズロチ、ヘルスケアに追加で60億ズロチを割り当てるなど社会政策に配慮した

内容となっているほか、防衛に追加で4億ズロチの割り当てが予定されている。政府歳入は3,557億ズロチ、歳出3,972億ズロチで、415億ズロチの財政赤字が想定されている。同予算案は9月末に国会に送られる。

マクロ経済動向・統計**6割がポーランド経済状況はよい方向にあるとの調査結果【24日】**

民間調査機関が1,063人を対象に8月に行った調査によれば、59%が経済は良い方向に向かっていると回答した。また、39%が今後3年間で生活水準の向上を見込んでいる一方、37%は変わらないと回答している。職探しについては、70%が困難を感じないと回答している。

前月から横ばいの7.1%、登録失業者数は114万人と発表した。

平均賃金上昇率【28日】

ジェチポスポリタ紙は、2017年6月の平均賃金上昇率を6%、最低月給を約4,200ズロチと報じた。2017年末には賃金上昇率は8%に、2018年末にはそれ以上に達すると見込まれている。賃金上昇は自動車と運輸産業で顕著で、年金受給年齢の引き下げ、ウクライナ人労働者の流入減、高い経済成長率が主な要因と見られている。

7月の失業率【24日】

中央統計局(GUS)は、7月の失業率について

エネルギー・環境**シドゥウオ首相、石炭はエネルギー需給見通しにおいて重要な役割を維持すると発言【29日】**

シドゥウオ首相は、カトヴィツェで開催された国際鉱業・エネルギー・金属産業サミットで、鉱工業の重要性、エネルギーミックスにおける石炭・褐炭の重要性、自国のエネルギー安全保障について言及した。また、トフジェフスキ・エネルギー大臣は、提出したエネルギーミックスに関して、欧州委員会から予備的承認を受けたと述べた。

年及び2017年にカタールとLNGガス長期契約を締結しており、同国からのガス輸入は、2016年の10億立法米から2017年に13億立法米、2018年には29億立法米へ増加すると見込まれている。

PGNiG, LNG 基地の利用に関し契約改定【29日】

ポーランドの国営石油・ガス会社PGNiGは、シフイノウィンチェLNG基地の利用に関する契約改定を決定した。同改定により、PGNiGは2018年から2035年まで同基地を使用できる。同社は、2009

ガスパイプラインの新設【30日】

ポーランドの国営ガス会社 Gaz-System は、エネルギー安全保障計画の一環として、9月12日に、タショフとヴェシュホヴィツァ間に新たなガスパイプラインを建設すると発表した。同パイプラインは、ポーランド・クロアチア間のLNG供給を担う南北ガス回廊計画の一部として、ドイツからの余剰LNGを管理する。建設費用は、総額9,000万ズロチと見込まれている(EU負担は4,800万ズロチ)。

大使館からのお知らせ

長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意

最近、ドイツ以外のシェンゲン協定域内国に長期滞在を目的と申告した邦人が、経由地であるドイツでシェンゲン協定域内への入国審査を受ける際に入国管理当局から(1)最終滞在予定国の有効な滞在許可証、(2)ドイツ滞在法第4条のカテゴリーD査証(ナショナル・ビザ)、又は(3)同D査証に相当する滞在予定国の長期滞在査証の提示を求められ、これを所持していないために入国を拒否される事例が発生しております。

このため、現地に到着してからの滞在許可証取得を予定し、最初にドイツ入国を予定している場合には、注意が必要です。

ドイツ以外の国では同様の事例は発生していませんが、シェンゲン協定域内国での長期滞在を目的に渡航する場合には、滞在国及び経由国の入国審査、滞在許可制度の詳細につき、各国の政府観光局、我が国に存在する各国の大使館等に問い合わせるなどし、事前に確認するようにしてください。詳しくは下記リンク先を御覧ください。

http://www.anzen.mofa.go.jp/c_info/oshirase_schengen_2.html

旅券(パスポート)の管理及び携行義務に関する注意喚起

パスポートの入ったバッグは身体から離さない、目を離さない、バスや地下鉄の車内ではリュック等は身体の前で抱える、といった注意を心がけてください。

万が一パスポートの紛失・盗難に遭った場合は、直ちに現地の警察に赴き、紛失届あるいは被害届を提出するとともに、いずれかの写し又は紛失・被害証明を入手し、日本国大使館又は総領事館の領事窓口まで御連絡ください。多くの国や地域では、外国人はパスポートを常時携行することが法律で義務付けられています。違反すると罰金等を科されることもありますので注意してください。

欧州でのテロ等に対する注意喚起

欧州では、本年に入ってからテロ事件が相次いで発生しており、特にイスラム教のラマダン期間(5月下旬～6月下旬)頃にはテロ事件が続発しました。ラマダン期間は終わりましたが、8月17日(現地時間)にはスペイン・バルセロナ中心部の観光地で多くの人が犠牲となる車両突入テロ事件が発生しており、引き続き更なるテロの発生が懸念されます。

欧州では夏季期間中に観光地やリゾート地を多くの観光客が訪れることが見込まれる中、スポーツ大会、音楽フェスティバル、独立記念日を祝う行事などのイベントが各地で開催されています。これら観光客やイベント等を標的とするテロに警戒する必要があることに加え、イベント等の警備のため手薄となった他の都市でのテロの実行も懸念されます。以上を踏まえ、以下のテロ対策をお願いします。

(1) 外務省が発出する海外安全情報及び現地報道等で最新の治安情勢等の関連情報の入手に努めるとともに、日頃から注意を怠らないようにする。

(2) 以下の場所がテロの標的となりやすいことを十分認識する。

観光施設、観光地周辺の道路、記念日・祝祭日等のイベント会場、レストラン、ホテル、ショッピングモール、スーパーマーケット、ナイトクラブ、映画館等人が多く集まる施設、教会・モスク等宗教関係施設、公共交通機関、政府関連施設(特に軍、警察、治安関係施設)等。

(3) 上記(2)の場所を訪れる際には、周囲の状況に注意を払い、不審な人物や状況を察知したら速やかにその場を離れる、できるだけ滞在時間を短くする等の注意に加え、その場の状況に応じた安全確保に十分注意を払う。

(4) 現地当局の指示があればそれに従う。特にテロに遭遇してしまった場合には、警察官等の指示をよく聞き冷静に行動するように努める。

(5) 不測の事態の発生を念頭に、訪問先の出入口や非常口、避難の際の経路、隠れられる場所等についてあらかじめ入念に確認する。

詳しくは下記リンク先を御覧ください。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

「たびレジ」への登録のお願い

3か月以上海外に滞在する方は在留届の提出を、3か月未満の場合は「たびレジ」への登録を必ず実施してください。渡航先の最新安全情報や、緊急時の大使館又は総領事館からの連絡を受け取ることができます。また、家族や友人、職場等に日程や渡航先での連絡先を伝えておくようにしてください。

下記リンク先から「たびレジ」に登録することができます。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>

パスポートダウンロード申請書の御案内

本年1月4日から、パスポートダウンロード申請が開始されています。日本国外でパスポート申請を行う方は、御自宅などでこれらの申請書をダウンロードし、必要事項を入力・印刷することで、パスポートの申請書が作成できるようになります。詳しくは、下記リンク先を御覧ください。

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/passport/download/top.html>

【お知らせ】大使館広報文化センター開館時間

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報：<https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先：在ポーランド日本大使館広報文化センター（電話：22-584- 73 00，Eメール：info-cul@wr.mofa.go.jp，住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa）

文化行事・大使館関連行事

【予定】芸術・教育プロジェクト「ダンスの若い魂」【9月4日(月)、6日(水)、9日(土)、10日(日)】

ポーランドのバレエ専門高校の学生及び欧州各国のバレエ学校に通う日本人学生による共同公演がポーランド各地で開催されます。入場券は各会場にて販売。

公演日程：

9月4日 18時30分 ウッチ大劇場

9月6日 18時30分 ウッチ大劇場

9月9日 18時 ホジュフ劇場

9月10日 18時 シロンスクオペラ

【予定】日本の伝統書芸術展【9月19日(火)～29日(金)】

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、稲垣小燕氏による書道作品が展示されます。入場無料。

開催場所：在ポーランド日本大使館広報文化センター（電話：22 584 73 00，Eメール：info-cul@wr.mofa.go.jp，住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa）

【予定】日本ポップカルチャーイベント「アスコン2017」【9月9日(土)～10日(日)】

ホジュフ市にて、シレジア・ファンタジー協会主催による『日本ポップカルチャーイベント「アスコン2017」』が開催されます。ポップカルチャーを中心とした日本文化を紹介する講演会、公演、コスプレ大会等が予定されています。

開催場所：シロンスク県、ホジュフ市、第3高校、ul. Farna 7

詳細：<https://asucon.pl/>

【予定】第7回国際ジュニア・子供柔道選手権大会【9月23日(土)～24日(日)】

ウッチ市にて、学生スポーツクラブ「こころ」主催による『第7回国際ジュニア・子供柔道選手権大会』が開催されます。

開催場所：ウッチ県、ウッチ市、ul. Stanisława Małachowskiego 5/7

詳細：<http://www.judolodz.pl/>

【予定】第5回ポーランド空手選手権大会「TATARIA CUP」【9月23日(土)】

ノバ・サジナ市にて、レジャイスク極真空手クラブ主催による『第5回ポーランド空手選手権大会「TATARIA CUP」』が開催されます。

開催場所：ポトカルパチエ県、ノバ・サジナ市、ul. M. Konopnickiej 2

詳細：<http://www.karate.lezajsk.pl/>

【予定】第3回日本ポーランド冷兵器の日【9月30日(土)】

ワルシャワ市にて、ポーランド軍事博物館主催による『第3回日本ポーランド冷兵器の日』が開催されます。武道デモンストレーション（新陰流、相撲、剣道、試し切り）、冷兵器の展示会、歴史再現グループのデモンストレーションや様々なワークショップ・コンクール等が予定されています。

開催場所：ワルシャワ、ポーランド軍事博物館、Aleje Jerozolimskie 3

詳細：<http://www.muzeumwp.pl/>

【予定】国際極真空手選手権大会 ポドラシェ県知事杯【9月30日(土)】

ビャウイストック市にて、ビャウイストック空手極真クラブ「カンク」主催による『国際極真空手選手権大会 ポドラシェ県知事杯』が開催されます。

開催場所：ポドラシェ県、ビャウイストック市、ul. Ks. Suchowolca 26

詳細：<http://kyokushin.bialystok.pl/>

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。

報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。

記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまで御連絡ください。（営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますので御了承ください。）

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまで御連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。

news@mail@wr.mofa.go.jp (御連絡は電子メールでお願いします。)